

説教ワノポイント

持っている人

マタイ一三・一〇～一六

今日のイエスの言葉の中に世間でよく耳にする言い回しがあるので、驚きました。

「持っている人はさらに与えられて豊かになるが、持っていない人は持っているものまでも取り上げられる」(一一節)。

お金持ちはもつと豊かになり、貧しい者はもつと貧しくなる、と、世の中の矛盾をさして皮肉交じりによく言われます。もしかして皆、イエスの言葉を知っているの？ そうではないでしょう。たぶんそのような矛盾はおよそ人間が社会生活を営む上で常に存在してきたのだろう。だから、古今東西同じような言い回しが用いられてきたのだろう。そう思えます。

むしろ、スゴイのはイエスの方です。そのよう

な世の中の矛盾の言葉を、まったく違う意味で語り出したのですから。

「持っている人は…」イエスは何を持っている人のことを言っているのでしょうか。前後を読むとすぐに分かります。「あなたがたには神の国の秘密を悟ることが許されているが…」(一一節)。そう、神の国です。神の国をそつと心に抱いている人は、よい土地に落ちた種のように三〇、六〇、一〇〇倍にも実っていく。世の中はお金や地位や権力のあるなしで評価します。しかし、イエスは神の国を心に持っているかどうか。もっているなら、大丈夫。神の国はあなたの中で自ら力をもって豊かに実っていく。

生きる気力を削ぎ落とすような世の中の言葉さえ、イエスの手にかかる希望と信頼の言葉へと変化を遂げます。今日もイエスは私たちに神の国を語られます。そして、その実はすでに膨らみ始めています。